

1 家庭学習の手引きについての考え方

- 小学校の学習は、社会人として将来自立するための基礎となるものです。
- 「何でもやってみよう」「がんばってみよう」という学ぶ意欲と、「読むこと」「書くこと」「計算すること」など、その学年で学習する基礎的・基本的な内容の定着は、欠かすことのできない大切な力です。それらが「よりよく生きるための力」となるのです。
- 今、学校では、学習習慣、学習規律の徹底を図って主体的に学習に取り組む態度を育てていくこと、また、朝の読書タイムや昼の学習スキルタイムを設け、基礎学力を高めていく取組を進めています。さらに、ご家庭と連携し、家庭学習の充実を図ることが、子どもたちの「学ぶ力」を高めることにつながると考えています。そこでこの「家庭学習の手引き」を作成しました。お子様と一緒にご覧いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。その学年に必要な家庭学習の習慣や方法を身に付け、学校や家庭で、生き生きとした学びができるようにと願っています。

2 学習準備と家庭学習の習慣化

【学習準備…習慣になるように声かけを】

- 学校のお便りをすぐに出す。（出す場所をきめておく）
- 机の上を片付ける。
- テレビを消して学習に集中する。
- 明日の時間割、持ち物の準備をする。
- 鉛筆をけずる。 ぶで箱の中 えん筆5～6本、赤えん筆、消しゴム、

じょうぎ、ネームペン

（学習に必要なものだけ入れる。必ず記名をしておく。）

【毎日、机（決めた場所）の前にすわる習慣づくり…家庭学習の習慣化】

- 家庭学習をする。（ていねいに。集中して。わからないことは自分で調べる。）
- 一番大事なことは、とにかく毎日継続することです。初めは、少しの時間でも、徐々に各学年のめやすの時間に近づけていくことが大事です。



3 家庭学習の内容と方法

【学習方法…学習のリズムを作る話し合いを】

- 家庭学習（宿題）をするときには…
- （いつ）毎日同じ時間に。何時から何時まで。…学習する時間を決める。
- （どこで）落ち着いて勉強できる場所で取り組む。…学習する場所を決める。
- （何を）宿題以外は、自分で課題を決めて家庭学習に取り組むことが大切。

学習のめやす

低学年1・2年	中学年3・4年	高学年5・6年
習慣を身につける時期	確かな学力につなげる時期	学習の幅を広げる時期
学習時間30分	学習時間45分	学習時間60分
保護者の協力、見届けが必要	自分から机に向かう習慣が必要	自主勉強を取り入れ、継続が必要

一番大事なことは、自分が勉強しやすい場所を決め、毎日必ず勉強に集中する時間を作ることが大事です。「学ぶ力」と「基礎学力の向上」につながります。



○学力の向上につながる7つの生活ポイント

- ①夜更かしせず、早寝早起きをしましょう。
- ②朝ご飯をしっかりと食べましょう。
- ③本を毎日読みましょう。
- ④できるだけ新聞を読みましょう。
- ⑤テレビやゲームの時間を決めましょう。
- ⑥忘れ物がないように前日の準備をきちんとしましょう。
- ⑦学校であったことをおうちの人に話しましょう。

学力向上は規則正しい生活から